

開かれた議会 親しまれる議会を目指して

伊丹 夏
Summer

市議会

だより

itami August.7, 2023 vol. 248

CONTENTS

vol.248の主な内容

P.2 …… 5月臨時会

P.3 …… 6月定例会

P.3~7… 一般質問

P.7 …… 議案審査

議決結果

P.8 …… 人事

委員会の視察報告
市議会からのお知らせ
議長の活動報告
会議の予定

各議員の質問等の動画をスマートフォン等で簡単にご覧いただけるよう、二次元コードを掲載しています。

(通信費は利用者負担になります。)



伊丹市議会HP



伊丹市マスコット
たみまる

過去のいたみ花火大会

5月臨時会

令和5年第2回臨時会(5月16日~18日)では、議長、副議長、議会選出監査委員、各委員会の委員長・副委員長及び各委員が選任されました。
また、豊中市伊丹市クリーンランド議会議員が選出されました。

市議会ホームページから3つの方法でご覧いただけます。

- ①会議録検索システム(9月上旬に掲載予定)
- ②本会議中継・録画配信
- ③代表質問・個人質問・一般質問・質疑の要旨

伊丹市議会 検索



戸田 龍起 議長



竹村 和人 副議長



齊藤 真治 監査委員



総務政策常任委員長
泊 照彦



文教福祉常任委員長
鈴木 久美子



都市企業常任委員長
永松 敏彦



議会運営委員長
杉 一



飛行場問題対策
特別委員長
土井 秀勝



議会改革検討
特別委員長
篠原 光宏



市立伊丹病院検討
特別委員長
保田 憲司



総務政策常任委員会

(後列) 松浦 晴美・杉 一・竹村 和人・保田 憲司・鈴木 隆広
(前列) 新内 善雄・泊 照彦(委員長)・大江 広人(副委員長)・服部 好廣



文教福祉常任委員会

(後列) 戸田 龍起・花田康次郎・加柴 扶美・前田伸一郎・篠原 光宏
(前列) 森 華奈子・鈴木久美子(委員長)・岸田真佐人(副委員長)・高橋 あこ



都市企業常任委員会

(後列) 大津留 求・高塚 伴子・原 直輝・齊藤 真治・川井田清香・土井 秀勝
(前列) 北原 速男・永松 敏彦(委員長)・山藺 有理(副委員長)・加藤 光博

委員会	委員長	副委員長	委員
議会運営委員会	杉 一	篠原 光宏	保田 憲司・齊藤 真治・大津留 求・川井田清香・服部 好廣 永松 敏彦・土井 秀勝・大江 広人
飛行場問題対策	土井 秀勝	新内 善雄	北原 速男・高塚 伴子・岸田真佐人・花田康次郎・大江 広人
議会改革検討	篠原 光宏	泊 照彦	杉 一・山藺 有理・齊藤 真治・服部 好廣・永松 敏彦 高橋 あこ・鈴木久美子・前田伸一郎・原 直輝
市立伊丹病院検討	保田 憲司	森 華奈子	加藤 光博・大津留 求・川井田清香・加柴 扶美・松浦 晴美 鈴木 隆広

豊中市伊丹市クリーンランド議会議員 北原 速男(副議長)・高橋 あこ(監査)・花田康次郎・加柴 扶美・前田伸一郎・鈴木 隆広

6月定例会

令和5年第3回定例会(6月8日~29日)では、26人の議員から市政全般にわたり、さまざまな質問がありました。その一部を紹介します。
なお、詳細については、ホームページや二次元コードからご覧いただけます。

一般質問



天神川堤防決壊における 周辺住民への対応

山藺 有理 議員



問 5月8日未明に発生した天神川堤防決壊後に、被災した家庭に対し区域外からの悪質な訪問や自宅前を通過する見物人が多くいたと聞いているが、これに対する市の対応策は。

答 区域外からの悪徳業者や見物人に対する市民からの意見に基づき、伊丹警察署と協議を行い、対応を依頼している。市としては、被災者への過大な負担とならないよう、お声がけとともに相談窓口案内チラシの投函等により、意思の疎通が取れるよう心がけてきたところであり、今後とも被災者からの要望を伺いながら、適宜適切な対応を進めていく。



近畿中央病院跡地への 医療機関誘致

加柴 扶美 議員



問 近畿中央病院跡地への回復期病床と複数の診療科を持つ民間医療機関の誘致と、市が閉院後の医療空白を防ぐ手立てを行うべきと考えるが、見解を伺う。

答 跡地への回復期機能を有する民間医療機関の誘致に努め、回復期状態にある入院患者に対応する役割を担っていただく。統合新病院開院時の回復期必要病床数は現時点で示されていないが、今後、県の新たな地域医療構想策定において、実現のための様々な調整が行われていくと認識している。また、近畿中央病院の医療提供終了後、直ちに民間医療機関を開院させることは困難だが、近畿中央病院が担ってきた医療機能は統合新病院で提供を継続する。



マイナンバーにひもづけて 登録する公金受け取り口座

新内 善雄 議員



問 別人のマイナンバーに公金受け取り口座が登録されるトラブルについて、本市の発生状況を伺う。

答 本市では、マイナポータル利用の支援窓口開設当初からデジタル庁が自治体向けに配付した操作マニュアルを遵守し、手続用サイトへのログイン・ログアウトを市職員とともに申請者にも確認していただくよう徹底しており、本年6月時点で、別人のマイナンバーに公金受け取り口座が登録されるトラブルは発生していない。市民がマイナンバーカードを安全に利用できるよう、引き続き運用面・技術面の観点から安全な利用環境を確保し、併せて、丁寧な説明で安心していただけるよう取り組む。



地域総括交付金のあり方

鈴木 久美子 議員



問 地域総括交付金の金額は、小学校区内の人口規模にかかわらず1団体あたり182万円の一律交付と、ふるさと寄附活上限額30万円の交付だが、人口按分への移行に対する市の見解は。

答 現在、1団体あたり182万円の範囲内で活動を行っていただくことが可能となっていること、また、この交付金額に加えて、地域の実情に応じて、ふるさと寄附を活用いただいている。今後、17小学校区が全て地域自治組織に移行し、地域総括交付金を活用した新たな事業が展開されていく中で、その経緯を見ながら、交付金のあり方について検討していく。



事業者応援お楽しみギフト 事業の引換券・金券

花田 康次郎 議員



問 事業者応援お楽しみギフト事業に当選し提供された引換券や金券が使用されなかったにもかかわらず、市が事業者に前払いしている引換券等の相当額全額を精算しなかったことは適正ではないと考える。この手法を採用した理由は。

答 引換券等の提供事業者には、引換期間中、当選者数分の商品等を提供できる体制を整えていただくことにより費用負担が発生する。また、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けている地域経済に対する支援という目的から事業者に継続的な事業展開を行っていただくため、利用の有無により精算を行うものではないと判断した。



市立伊丹病院の分娩状況

川井田 清香 議員



問 現在、市内で分娩可能な施設は市立伊丹病院と近畿中央病院のみだが、それぞれの分娩状況を伺う。

答 令和4年度実績は、市立伊丹病院で330件(市内在住者257件、市外在住者73件)、近畿中央病院で203件(市内在住者105件、市外在住者98件)であった。市立伊丹病院の令和5年4月・5月の実績は46件であり、12月末日までの分娩予約は176件となっている。なお、近畿中央病院での分娩の取扱いは、令和6年1月末日で停止予定と聞いているが、今後、新たに分娩を予約される妊婦の方に対しては、市立伊丹病院での受入れを行い、市民が安心して分娩に臨めるよう対応を進めていく。

過労死ラインの教職員の働き方改革

岸田 真佐人 議員



問 年度当初の4月に中学校教諭は半数近くが時間外勤務時間の過労死ラインを超えている現状から、今年度、働き方改革をどのような方針で進めるのかを伺う。

答 市教育委員会では、令和5年度働き方改革実施計画に基づき、教職員の勤務時間適正化の取組を進めており、具体的には、ICTを活用した業務効率化、部活動改革に向けた検討、令和3年度比1日増を目指した有給休暇取得促進、タイムマネジメントを意識した働き方の啓発などに取り組む。今後も、教職員の負担を軽減し、子どもの学びに注力できる環境をつくるため、働き方改革を継続し、持続可能な学校管理体制を構築していく。

家庭菜園事業の管理運営方針

泊 照彦 議員



問 ①過去に目標としていた菜園取得区画数に変わりはあるか。②ルールを守らない利用者への対処は。

答 ①目標を1,300区画に設定していたが、本事業を取り巻く環境が変化し、今後は市民需要に応じた菜園数・区画数を確保したいと考えており、利用者数の推移、民間市民農園の運営状況を注視し検討する。②利用者や近隣住民からの要望等への対応、ルール違反者への指導は委託事項だが、周辺道路への駐車車、菜園内の不具合発生への対応等緊急対応は、委託業者との連携した対応が必要と認識している。今後も、課題や懸案事項を共有し、適切な役割分担のもと、十分な連携を図りながら菜園を管理していく。

高齢者等のごみ出し支援

永松 敏彦 議員



問 ごみ出しが困難な状況にある高齢者等世帯への支援の現状は。

答 地域の5戸以上の家庭からの要望でごみステーションを設置しており、できる限りお困りの世帯の近くに設置するなど対応している。また、ごみ出し支援を実施している地域もあるが、安定的・継続的な支援をしていくという点では、助け合いを前提とした支援には限界がある。高齢等の理由で一般廃棄物が家の中に滞留することは望ましいことではなく、より本市に合った方法を模索する必要があると考える。引き続き、福祉部局と情報共有を行い、他市の事例や導入状況を注視し、支援策を検討していく。

統合新病院において先進的な取組を

鈴木 隆広 議員



問 ①統合新病院へのAIホスピタル*の導入は。②どのようなシステムの導入を検討しているのか。

答 ①システムが実用段階となった際に、遅滞なく導入できるよう、施設に必要なインフラ整備や拡張性を持たせた医療情報システムの導入など、将来に備えた環境整備に努めたい。②業務支援分野では、生体認証や音声入力を、診療高度化分野では、統合診療支援プラットフォームを活用した診断システムを、情報解析分野では、経営効率化・医療安全・臨床研究への活用を前提とした解析システムなどを、各分野において検討している。

*AIホスピタル…AI技術を活用した医療現場での負担軽減につながる診断補助やコミュニケーション支援等

特別支援教育に携わる教員の人材不足

篠原 光宏 議員



問 通常学級に在籍しながら特別な教育的支援を受ける児童生徒が増加する一方で、特別支援教育に携わる人材不足という課題があるが、市の現状を伺う。

答 令和4年3月に、特別支援教育を担う教師の養成の在り方等に関する検討会議の報告で、全ての新規採用職員がおおむね採用10年以内に特別支援教育を複数年経験することとなるよう、人事上の措置を講ずるなどの方向性が示された。特別支援教育の専門性を持つ教員を増やしていくことは、教育全体の質の向上にもかかわることから、その担い手を育成することは大変重要なことであると認識しており、今後も人材育成に努める。

上下水道料金の減免

北原 速男 議員



問 水道基本料金及び下水道基本使用料の減免を1期2か月分とする理由を伺う。

答 エネルギー、食料品価格等の物価高騰の影響を受けた生活者や事業者に対し、地方公共団体が地域の実情に合わせて必要な支援をきめ細やかに実施できる地方交付金の交付限度額が示された。光熱費の高騰に対する公共料金の負担軽減に即時性があること、また、市民の申請手続きなどが不要であることのメリットのほか、市民からは全世帯が対象であり、直接的な光熱費の負担軽減になるという声もあることから、本年8月及び9月徴収分である水道基本料金等の減免を実施する。

大学跡地の大規模マンション建設

服部 好廣 議員



問 市宅地開発等指導要綱に基づく事前協議において、建設中の大規模マンションに隣接する稲野運動公園利用者の安全確保は継続協議となっている。建設工事が進行中の現在も継続協議となっている理由を伺う。

答 事前協議では、本市が利用者の安全確保を十分に行うことを条件とし、事業者が継続協議をする旨、回答しており、これは、工事の進捗により公園利用者の安全に影響が出る場合などを想定し、必要に応じ協議するとしていたものである。なお、マンションからの落下物について、地域住民から不安の声があり、事業者に法上の義務はないが、防止策についても検討していただいた。

学校給食費無償化の可能性

松浦 晴美 議員



問 給食費無償化は、本来、国が担う取組と考えるが、各自治体で取組がなされ、地域間格差が生じている。本市で給食費無償化を導入する可能性は。

答 給食費無償化には、令和5年度予算では約8億400万円が必要であり、また、長引く物価高騰による食料費への影響を考慮すると、さらに増額が必要になると見込まれ、全額を市で負担することは極めて難しいと考える。また、国では、公立小・中学校の給食費無償化について自治体の実態などを調査し、検討するとされており、市独自の給食費無償化については、国や他市町村の動向を注視しながら、引き続き検討する。

介護現場における新型コロナ感染防止用物品

保田 憲司 議員



問 新型コロナの感染症法上の位置づけが5類に移行した後も、介護現場など感染や重症化リスクの高い施設では、マスク着用や手指消毒等を継続して実施されている。今後の感染状況や施設からの要望も踏まえ、市が備蓄している物品を提供していくことへの見解を伺う。

答 市が保管している物品のうち使用期限が短くなったものについては、これまででも、有効活用を図るため、介護保険サービス事業所をはじめ、必要とされる方へ提供してきた。今後も、使用期限等を勘案しながら、備蓄物品を有効に活用するため、物品を必要とする事業所等への提供等、適切に対応を図っていきたい。

アイホールの今後

大津留 求 議員



問 アイホール(演劇ホール)の演劇機能を移転するのであれば、館の運営上、今年度中に結論を出さなければならないが、今後のスケジュールについて伺う。

答 アイホールは、昨年度から経営改善を行った上で事業を継続している。また、文化3館(文化会館・音楽ホール・演劇ホール)のあり方も、令和4年度から6年度までの3年間に方向性を示す予定としているが、現時点でまだ結論には至っていない。仮にアイホールの用途変更を行う結論となる場合には、貸室利用者に不利益が生じないように配慮することも想定し、今年度中に中間報告を実施したのち、令和6年度上半期に最終的な報告を考えている。

高校生の通学定期代補助

森 華奈子 議員



問 市外の高等学校に通う高校生がいる世帯では、通学定期代の負担が大きい。高等学校への通学を支援することについて、見解を伺う。

答 現在、高校生に対する通学定期代の補助制度は検討していない。他市では、近隣に通える高等学校がなく、やむを得ず遠方まで通わざるを得ない状況等で、保護者の負担軽減を目的に、一定額を超える通学定期代に対して補助が実施されている場合がある。本市は子育て支援に力を入れており、高校生世代にも何らかの支援があってもよいのではとの提案を受けたことから、今後、市外へ通学する高校生や先進自治体の状況などを調査・研究していく。

休日保育への取組

前田 伸一郎 議員



問 市内保育所での休日保育の実施状況と、第3期市子ども・子育て支援事業計画に休日保育の充実と実施体制の方向性を明記し、推進していくことへの見解は。

答 現在、私立保育所等3か所で休日保育を実施している。また、本年度からの第3期計画の策定過程において、休日保育のさらなる周知に努めるとともに、ニーズを的確に把握した上で、保育サービスの供給量との比較や、他市事例の研究等を行いながら、保育人材確保も含めた必要な課題解決策などを検討していくとともに、市子ども・子育て審議会等で休日保育のさらなる充実の必要性を含め意見を伺い、本計画での位置づけ等について検討する。

選ばれるまちに向けた子育て施策の充実

加藤 光博 議員



問 選ばれるまちに向けた子育て施策の充実策の効果、また新たな子育て施策の実現に向けて見解を伺う。

答 市は、こども医療費助成の拡充を本年7月から、2人以上が保育所等を利用する場合の第2子の保育料無償化を9月から、加えて長期休業中における児童くらの昼食提供事業も開始する。市の魅力や住みやすさを市内外へPRすることで、選ばれるまちづくりに寄与できると考える。また、新たな子育て施策の実現に向けて、国の子ども子育て施策の抜本的強化に向けた動向に注視し、他自治体の先進的な施策の効果等も研究しつつ、未来を担う子どものための施策の充実を検討していく。

幼児教育の質と就学前施設の再編

高橋 あこ 議員



問 幼児教育の質と量は両輪なのか、質を目指して就学前施設を再編するのかを教育長に伺う。

答 本市の考える幼児教育とは、幼児教育を必要とする児童全体を視野に入れた改革を進めていくことである。社会の変化や保育ニーズ、私立幼稚園との共存共栄などを総合的に鑑みて、限りある財源の中で、全ての児童にとって必要な幼児教育の環境整備が必要である。そのときは、幼児教育に関わるあらゆる立場の関係者から意見を伺うような審議会を開催して諮問し、その答申を基に行政計画を策定する。策定に当たっては、市長や関係部局との連携をしっかりと取っていききたい。

下水道施設の維持管理

齊藤 真治 議員



問 地中に埋設された地上から見えない下水道管渠(暗渠)の調査方法は。また、暗渠で傷みやすい箇所への対応を伺う。

答 安全が確保できる場合は調査員が目視で管内の異常箇所を確認するが、主にはテレビカメラを搭載した小型車を管内に挿入し、自走させ、映像で確認して、緊急度の高い箇所から順次、優先順位をつけて改築・修繕を行っている。また、地形的な要因等により一時的に汚水が滞留する構造となっている箇所の周辺等、腐食のおそれ大きい箇所は5年に1回の頻度で調査をしており、重点的に維持管理をしているところである。

市営バスの運賃改定

杉 一 議員



問 新型コロナの影響を受け、経営状況が厳しくなっている市交通事業の経営改善のため、値上げの運賃改定を市使用料手数料等審議会に諮り、令和6年には実行すべきと考えるが、運賃改定の予定とそのスケジュールは。

答 市交通事業第4次アクションプランにおいて、運賃改定を計画しており、令和6年早々を目途に実施したいと考えている。また、スケジュールについては、審議会からの答申に基づき、9月上旬に運輸局へ運賃の上限設定に係る認可申請を行い、乗車料条例等の関連条例の改正案を議会に諮り、承認後、運賃改定を実施したい。なお、改定額は、現時点で現行運賃から20円を見込んでいます。

ファミリー・サポート・センターのデジタル化

原 直輝 議員



問 市育児ファミリー・サポート・センター利用登録のデジタル化について伺う。

答 現在の運用では、事故やトラブルを未然に防ぐため、事前の顔合わせや打合わせを丁寧に行うことで会員双方が安心して利用できるよう配慮している。現在、アプリ等による協力会員と依頼会員のマッチングは行っていないが、本事業をより一層利用しやすいものとするため、アプリの活用も含めICT技術の導入について、他市の事例を収集するなど研究していく。また、メール機能については、近隣市において電話と併用で活用されていることから、本市においても導入していきたい。

マイナ保険証の利用に向けて

高塚 伴子 議員



問 マイナンバーカードを保険証として登録している市民と、利用できる医療機関・薬局などの割合は。

答 本市における本年4月時点の国民健康保険被保険者の登録割合は44.5%である。また、同月から保険医療機関・薬局にシステム導入が義務づけられており、本年5月現在における市内のシステム申込率は94.1%である。一方、全国の本年1月のマイナ保険証での受診率は、1.4%である。令和6年秋以降の保険診療は、マイナンバーカードによるオンライン資格確認を基本とする法改正が行われたことから、具体的な取扱いについて、被保険者に不利益が生じないよう保険者として必要な対策等に取り組む。

都市農業保全の取組とビジョン

土井 秀勝 議員



問 本市におけるこれまでの都市農業保全の取組と今後のビジョンについて伺う。

答 これまで生産振興や農地保全、担い手の確保及び育成、市民との共生、農地の多様な機能の発揮など、多角的な取組を行ってきた。特に都市農業の保全には、何より農業者の生産意欲の高まりが重要であることから、今後も農業者の意見を参考に効果的な取組を展開していく。あわせて、これまでの各種方策をさらに加速させ都市農業の安定的な継続を図るとともに、多様な機能の発揮を通じて都市農業の価値を正しく評価し、その活用を推進することで都市農業が本市の大きな魅力となるよう取り組んでいく。

通学路の安全確保と児童くらぶ入所者

大江 広人 議員



問 ①通学路の安全確保のため、横断歩道のある交差点に歩行者用信号機の新設を進める上での本市の役割と、②今後の児童くらぶ入所見込み数とその対応は。

答 ①市の役割は、信号機の設置が児童生徒等の登下校の安全性を高められる場合、伊丹警察署を通じて県公安委員会に働きかけることである。引き続き、道路事情等の情報収集に努め、児童生徒の安全確保につなげるとともに、学校や保護者等からの相談・要望等に迅速に対応する。②大型マンション建設中の地域もあり、利用者の増加が見込まれるが、希望者が入所できるよう専用室の確保や整備、児童支援員の確保等、関係部局と調整する。

・一般質問の発言順で掲載しています。

議案審査

令和5年第3回定例会では、議案は36件でした。ここでは、専決処分報告を除く全議案と、これらの議案が付託された3つの委員会の内容をご紹介します。なお、議案名の横にA~Dとあるのは、賛否が分かれた議案です。各議員の賛否は右の議決結果をご覧ください。

総務政策常任委員会

令和5年度 一般会計補正予算(第3号)

5億4,475万7千円を追加補正

エネルギー・食料品価格等の物価高騰の影響を受けた市民生活の支援や事業者の負担軽減のための支援が実施されます。

その他の議案

- 令和5年度 一般会計補正予算(第2号)
- 災害派遣手当等の支給に関する条例の一部改正
- 市税条例の一部改正
- 火災予防条例の一部改正
- インボイス制度の実施延期を求める意見書を政府に送付することを求める請願書 A

文教福祉常任委員会

- 児童会館条例の一部改正
- 特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例及び家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正

都市企業常任委員会

- 令和5年度 水道事業会計補正予算
- 令和5年度 下水道事業会計補正予算
- 印鑑条例の一部改正 B
- 墓地使用条例の一部改正 C
- 市道路線の認定
- 日本政府に核兵器禁止条約の参加・調印・批准を求める請願 D

委員会付託なし

- 伊丹小学校大規模改造(第1期)他工事の請負契約
- 市営狩野団地4・5・6号館耐震補強他工事の請負契約
- 市営天神川団地1・2・4号館耐震補強他工事の請負契約
- 中央保育所大規模改修工事の請負契約
- 環境クリーンセンター管理棟大規模改修工事の請負契約
- 北部学習センター空調設備他改修工事の請負契約
- 新田中野財産区管理委員の選任
- 農業委員会委員の任命(11件)
- 教職員定数改善と少人数学級推進を求める意見書
- 義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書
- 特別支援学校・学級等への教員等の適切な配置を求める意見書

議決結果

議案は、委員会審査のあと本会議で議決されます。第3回定例会の議案36件のうち34件は可決・承認されましたが、請願2件は不採択となりました。

議案30件 報告1件 意見書3件

賛否の分かれた議案

- A インボイス制度の実施延期を求める意見書を政府に送付することを求める請願書
- B 印鑑条例の一部改正
- C 墓地使用条例の一部改正
- D 日本政府に核兵器禁止条約の参加・調印・批准を求める請願

会派名 議員名	A	B	C	D
公明党	不採択	可決	可決	不採択
北原 速男	×	○	○	×
篠原 光宏	×	○	○	×
竹村 和人 (副議長)	×	○	○	×
永松 敏彦	×	○	○	×
松浦 晴美	×	○	○	×
前田伸一郎	×	○	○	×

新国会	A	B	C	D
泊 照彦	×	○	○	×
加藤 光博	×	○	○	×
杉 一	×	○	○	×
戸田 龍起 (議長)	—	—	—	—
土井 秀勝	×	○	○	×
花田康次郎	×	○	○	×

伊丹維新の会	A	B	C	D
齊藤 真治 (監査委員)	×	○	○	×
大江 広人	×	○	○	×
森 華奈子	×	○	○	×
鈴木 隆広	×	○	○	×
原 直輝	×	○	○	×

フォーラム伊丹	A	B	C	D
保田 憲司	○	○	○	○
山岡 有理		欠	席	
大津留 求	○	○	○	○
岸田真佐人	○	○	○	○
高橋 あこ	○	○	○	○

創国会	A	B	C	D
川井田清香	×	○	○	×
鈴木久美子	×	○	○	×
新内 善雄	×	○	○	×

日本共産党伊丹市議員団	A	B	C	D
服部 好廣	○	×	×	○
加柴 扶美	○	×	×	○

会派に属さない議員	A	B	C	D
高塚 伴子	○	○	×	○

○…賛成 ×…反対 —…議長は表決に加わりません。

議長の活動報告

議長は、伊丹市議会を代表して広域的な会議などへの出席や、様々な行政課題の解決に向け取り組んでいます。(副議長が議長に代わって職務を行うこともあります。)ここでは、その一部を紹介します。

全国民間空港所在都市議会協議会

当協議会は、空港が所在する56都市の議会議長により組織され、空港の整備促進や周辺地区住民の民生安定、これに関連する財政問題等の解決を図ることを目的としています。



定期総会の様子

7月12、13日に役員会と定期総会が開催され、今年度の事業計画や予算が決定されました。今後、事業計画をもとに、会長である本市が中心となって国などに要望活動を行うなど、課題解決に向けて取り組んでいきます。

人事

6月定例会において、次の方々に同意しました。(敬称略)

- ▽新田中野財産区管理委員 小西 寿生
- ▽農業委員会委員
 - 武 正興 梶山 治文 武田 利治 中嶋佐智子
 - 小笠原孝治 和田 善巳 前田 栄一 小西佐智子
 - 稲田 利昭 伊丹 詠美 白井 応篤

委員会の視察報告

文教福祉常任委員会

(7/5) 奈良県
「中学校部活動の地域移行」



奈良県

総務政策常任委員会

(7/10) 広島県 三原市
「デジタル化推進事業」
(7/11) 福岡県 福岡市
「デジタルトランスフォーメーションの推進」



三原市

都市企業常任委員会

(7/12) 福岡県 福岡市
「外国人総合相談支援センター及び公立夜間中学」
(7/13) 福岡県 大牟田市
「イノベーション創出促進事業」



大牟田市

※詳細は、市議会ホームページをご覧ください。

会議の予定

日	月	火	水	木	金	土
8/27	28	29	30	31	9/1	2
				第4回定例会 議会運営委員会 本会議招集日 議員総会		
3	4	5	6	7	8	9
		議会運営委員会 本会議第2日 議案質疑		総務政策 常任委員会	文教福祉 常任委員会	
10	11	12	13	14	15	16
	都市企業 常任委員会		本会議第3日 代表質問	本会議第4日 代表質問	本会議第5日 個人質問	
17	18	19	20	21	22	23
		本会議第6日 個人質問	議会運営委員会 本会議第7日 個人質問等		決算審査 特別委員会	
24	25	26	27	28	29	30
	決算審査 特別委員会	決算審査 特別委員会	決算審査 特別委員会	決算審査 特別委員会	決算審査 特別委員会	
10/1	2	3	4	5	6	7
			決算審査 特別委員会			
8	9	10	11	12	13	14
			議会運営委員会 本会議最終日 議員総会			

市議会からのお知らせ

議員の寄附やあいさつ状は禁止されています。

議員は、選挙区内の人(法人、その他の団体を含む。)に対して、祭りなどへの寸志・差し入れ・お祝いなどの寄附や、年賀状・暑中見舞いなどの時候のあいさつ状(答礼のための自筆によるものを除く。)を出すことが、公職選挙法により禁止されています。また、議員に対する寄附の勧誘や要求も禁止されています。公正な政治活動をしていくために、ご理解とご協力をお願いいたします。

視覚障がいのある方を対象に、「朗読ボランティアグループ玉手箱」の皆さんの協力により、市議会だよりを朗読録音したCDを提供しています。

希望される場合は、伊丹市立障害者福祉センター(アイ愛センター)へお申し込みください。

☎072-772-0221 ☎072-780-2897

請願・陳情の受付は随時行っています。あなたの声を伊丹市議会へ。

【伊丹市議会だより】編集発行：伊丹市議会事務局議事課 〒664-8503 伊丹市千僧1丁目1番地(市役所3階)

☎072-780-4090 ☎072-784-8092 ☎http://www.city.itami.lg.jp/
伊丹市議会だよりは 86,100部作成し、印刷費は1部あたり7.98円です。